

樋口組 北興建設が町に寄付



右から、荒井代表取締役社長、田中町長、藤井代表取締役

地域振興に役立ててほしいと、建設会社の「樋口組」（深川市、荒井収・代表取締役社長）と「北興建設」（北竜町、藤井雅仁・代表取締役）の2社が4月26日、町にそれぞれ100万円を寄付しました。

この日は、荒井・代表取締役社長と藤井・代表取締役が町役場を訪ね、感謝状を受け取った2人は「町の発展、観光振興に活用してください」と、話しました。

笑顔あふれる小学校 看板一新



自分たちでデザインした看板の前で記念写真に納まる6年生

町立妹背牛小学校の6年生10人が、学校の明るい雰囲気やまどころの妹背牛をPRするため、校舎前の看板デザインを一新しました。

子どもたちはデザイン専用のソフトを使って、看板の原画を作成。プロジェクターで黒板の模造紙に画像データを投影し、描いた下絵に色を塗りました。

4月に完成した看板は、縦90センチ、横2メートルの大きさ。黄金色に輝く稲穂に「笑顔あふれる妹背牛小学校」の文字を添えました。

防火パレード 火防査察で火災予防



市街地を巡回し、火災予防をPRする消防車両

空気が乾燥し、火災の発生をしやすい季節を迎え、「火を消して 不安を消して つなぐ未来」を統一標語とする春の火災予防運動が4月20日、30日の日程で、全道一斉に行われました。

妹背牛町内では25日、防火パレードが行われ、消防車両などが市街地・農村地区を巡回。地域住民に火災予防を呼びかけました。

また、この日の火防査察では、住宅火災予防のポイントを記載したチラシを配付しました。

新鮮な農産物、地元特産品をどうぞ



新鮮な野菜や花苗が店内に並び、品定めを楽しむ買い物客

妹背牛町農産物直売所「SUN工房あぜみち」が5月15日、今季の営業を始め、初日から新鮮な野菜を買い求める人たちにぎわいました。

直売所では、地場産の野菜をはじめ、色鮮やかな花の苗、町民手作りの小町みそや浅漬けの素、福神漬けなどを販売。この日は妹背牛産アスパラが人気を集めたほか、10月末まで旬の農産物を売り出します。

営業時間は午前10時～午後5時まで。定休は月曜日。